

授業科目名	特別研究（国際保健） <i>Special Studies in Global Health</i>					担当教員	小川 里美、守山 正樹 緒方 文子				
開講年次	2年通年	セメスター	3・4			時間数(単位数)	講義				
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義			使用教室					
授業の目的	各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる 2. 研究計画書に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる 3. 研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる 										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
		○	◎	○							
授業計画	<p>本学修士論文審査に関する日程と大学院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究課題の設定 文献レビューおよびフィールド活動をとおして研究課題を設定する。 2. 研究計画書作成 設定した研究課題について、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 3. 本学研究倫理審査委員会への申請 本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 4. 研究計画に基づいたデータ収集 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 5. データの分析 6. 論文作成 論文の執筆、抄録の作成 7. 論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 8. 学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 										
学習方法	演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。										
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。 s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川） ma-moriyama@jrckicn.ac.jp（守山） a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方）										
テキスト	指定しない										
参考文献	適宜、提示する										
評価方法	修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。										